

# 小倉北区中学校 PTA 連合会

事業名称 : 小倉北中 P 連 会長・母代・校長 三部合同会議

## 【 ソフト事業 】

実施日時 : 令和 6 年 2 月 8 日 18:30~21:00

場 所 : 北九州市立商工貿易会館 501 室

事業費 : 6300円 (会議室使用料、音響費)

参加者 : 小倉北区中学校 9 校の会長、母代、校長、北九州市 PTA  
協議会 常務理事、小倉北区小学校 PTA 連合会会長

足立中学校、板櫃中学校、菊陵中学校、霧丘中学校、思永中学校、  
篠崎中学校、白銀中学校、富野中学校、南小倉中学校

## ◇実施の目的

- ★ 小倉北区内の中学校の情報交換を通じて各学校 PTA の結束を固める
- ★ 学校と保護者間の課題共有により共通の問題意識を持つことで校長と会長間のより深いコミュニケーションを達成し、相互理解、親睦を深める。

## ◇事業の概要と効果

もともと小倉北中 P 連では平成の時代には月に一度の会議を区内すべての学校の会長、母代、そして校長が一堂に会する 3 部会という名の会議を行っていた。現在は校長会長と担当校校長が出席する会議となっている。そこで昨年から通常の会議とは別に合同三部会と称したすべての会長、母代、校長が一堂に会する会議を年に 1~2 度開催することとなった。

会議の前半部分は通常の三部会議(会長会)を行い、後半で情報交換タイムを設け、各学校、PTA による学校紹介や PTA 自慢を行う。その後あらかじめ各学校から募集した校長会への質問事項に対する回答を担当の校長先生から発表してもらい、質疑応答で終了する役 2 時間半の会議を行った。席次は各学校校長、会長、母代の順番であいうえお順に口の字形式のレイアウトで行った。

効果としては各学校間、校長营、単 P 間の関係が少し縮まったのではないかとと思われる。学校への質問事項は時間的に足りないことを想定としており、その後学校にて自分の校長先生に直接コミュニケーションをとってもらうことを一つの狙いとした結果、何校かは継続して話し合いを行っているところがある。校長先生がたにも PTA の役員は決してカタブツではないな、話しやすいなとか感じてもらったのではないだろうか。

## 校長会への質問事項（抜粋）

### 1. 部活動の現状と今後の方向性

北九州市としては、部活動のための越境入学は認めていない。

勝利至上主義に走ることはないが、中には顧問やコーチの中にそう考えている人がいて、言うことを聞かないので中体連としても困っている。

正規の手続きを踏んでいれば、中学校として越境を制限できない。

今後、連携部活動や合同部活動が増えたり、地域への移行が進めば越境しなくても部活動ができるようになると思うが、数年は状況が変わらない、いろいろと整備してからというのが現状である。

### 2. 不登校の生徒への各学校の取り組み（各校で申し合わせなどがあるのか）

各校にステップアップルームを設置しており、学校によっては不登校対策教員が配置されている。

ほかに、オンライン授業を行っている。

外部のものとしては、教育支援室、未来へのとびらオンライン、児童相談センター、SSW（スクールソーシャルワーカー）など。

### 3. 現在の中学校教育とそれ以前の保護者世代の教育時代では何が大きく違うのか

基本的には大きく変わらない。ただ、入試制度が多様化されていろいろと変わっている。

大きく変わったのは授業の中でITCを活用したものが多く出ている。

昔と違って体罰的なものはなくなっている。

### 4. コロナ5類移行後の学校行事についての考え方と保護者の学校行事参加について

新しい生活用式もあり、慣習としてやっていた行事が精選されている

### 5. 真夏の体操服登校について（1年を通して好きな制服を着られる方が良い）

北区にもあると聞いている。移行期間をなくし、いつでも着たい制服を着る学校も徐々に出てきている。

夏休みの部活動については、体操服や部で指定した練習着で登下校しても良い。体育大会が真夏に行われるような場合には、練習期間中は途中で着替えなくてよいように朝から体操服で登校して体操服で下校を許可している学校もある。

### 6. 小倉北区で特別支援学級がある学校はどんな学級があるのか？

足立	知的	篠崎	知的	自閉・情緒
板櫃	知的	富野	知的	自閉・情緒 (R6~)
菊陵	知的	南小倉	自閉・情緒	自閉・情緒
霧丘	知的	思永	知的	自閉・情緒

### 7. 学校がPTAに望むことは？

学校の応援者であってほしい。

その他

コロナ後の学校行事について

Q：飲食のバザー、学校内での飲食については学校側の見解はどうか？

A：八幡東区の祝町小学校では、おとしは校内ではNGだったので、市民センターの調理室を借りて飲食バザーを行った。去年は学校の体育館でカレーを作った。

A：新型コロナの影響で数年実施していないので、ノウハウを持っている人がいなくなっている。単位PTAでのバザーがむずかしいと思うので、フェスタに参加していただければと思う。

※もっと詳しいことが聞きたい場合は直接校長先生にお問い合わせください。

## ◇事業を振り返って

今回去年に引き続き 2 回目の開催となり、昨年参加された会長さん、母代さんたちも多く、大体の雰囲気はわかっており、自己紹介からかなりリラックスして行えたところがよかったと思う。

校長先生がたも意識の高い PTA メンバーの前で話すということで多少緊張気味だったが、面白可笑しく学校の紹介を行い、またそれを受けて PTA 会長も面白おかしく PTA 自慢をするという和やかな雰囲気の中始まったので、校長先生型の答弁に対しても批判ではなく疑問を素直にぶつけるといった前向きな会議ができた。

時代の流れや特にコロナの空白期間で様々な行事がストップしていたが、それとともに P と T の結びつき、交流もちょっと遠くなってしまうのではないだろうか。

平成時代のようにとはいかないだろうが、やはり教師と保護者は PTA という名のもとに強いパートナーシップで結ばれなんでも話し合える仲でならないと思う。願わくは合同会議の後にはおいしいお酒でも飲みながら会議では話したりなかったことを語り合える世の中に。

# 小倉北区中学校 PTA 連合会

ITABITSU

SHIEI

KIKURYO

TOMINO

SHINOZAKI

ADACHI

SHIROGANE

MINAMIKOKURA

KIRIGAOKA